



市川市の資源物とごみの情報ペーパー

じゅんかん ニュース

<第44号>

発行日：令和元年11月20日

発行：市川市環境部

生活環境整備課

☎ 047 (712) 6317

FAX 047 (712) 6308

まだ食べられるのに

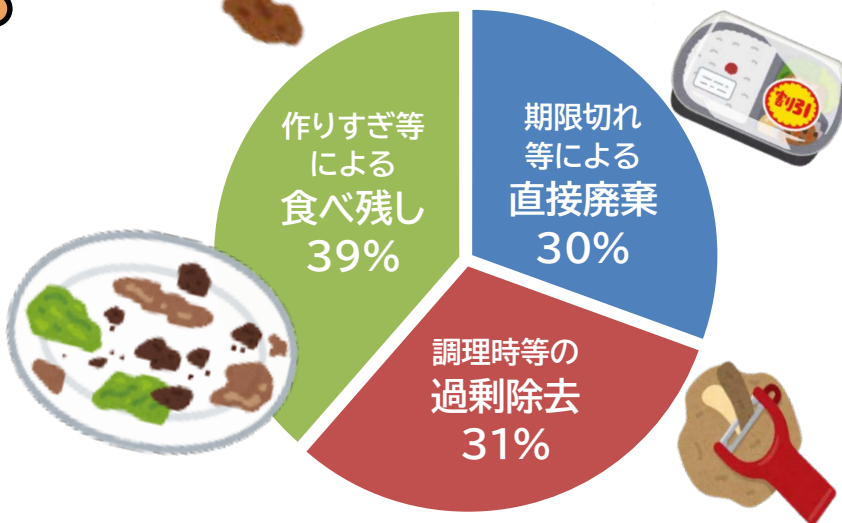
もったいない!

食品ロス 一人が年 50キロも

NO-FOODLOSS

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられている食品のことです。

日本では、もったいないことに一人年間約50キロ、合計で640万トンの食品ロスが発生しています。これは東京ドーム5杯分にもなる量なのです。



家庭から発生する食品ロス量の推計結果（環境省）

充電式電池による火災発生

適正排出にご協力ください

去る10月9日未明、クリーンセンター不燃ピットで火災が発生しました。原因は、リチウムイオン電池の自然発火と推測しています。火災により設備が破損してごみ処理に支障をきたす状況が続き、修繕には多大な支出（税金）が必要となっています。

ごみ処理での火災を防止するため、リサイクルマーク表示があるリチウム電池を含む充電式電池は、電器店やスーパーなどに置かれている「充電式電池リサイクルBOX」に入れてください。



ごみ収集車両入口から吹き上がる煙

食品ロスを減らすため 今日からできること



食品ロス削減推進法が施行されました

令和元年 10 月 1 日に「食品ロスの削減の推進に関する法律」（食品ロス削減推進法）が施行されました。

食品ロスの削減の定義（第 2 条）は「まだ食べることができる食品が廃棄されないようにするための社会的な取組」です。家庭や外食で、食品ロス削減に取り組みましょう。

家庭での取り組み

買い物時の工夫

- ・冷蔵庫をチェック
- ・期限表示をチェック
- ・必要な分だけ買う

調理・食事で工夫

- ・食材は適切に保存
- ・食材を上手に使いきる
- ・食べきれぬ量をつくる



外食のときも

メニューで工夫

- ・注文は食べきれぬ量で
- ・小盛りやハーフサイズを活用
- ・みんなでシェアして食べよう



ごちそうさま



宴会の
幹事さんに
お願い

「3010」で食べ残しゼロに

宴会の乾杯後 **30** 分間は席を移動しないで、そして、お開き **10** 分前には席に戻って料理を楽しんでもらいましょう。

幹事さん！ 美味しい料理を残さないよう、宴会の仕切りをお願いします。



リユースショップを活用しましょう

リユースショップは、中古品を取り扱う店舗のことで、リサイクルショップとも呼ばれています。

家具や衣類など捨てる前に一考を。リユースショップを活用して、必要としている人に使ってもらいましょう。

店舗情報は、市川市公式 Web ページで「リユースショップ」を検索、または生活環境整備課までお問い合わせください。



大型
ごみ

インターネットや LINE で 24 時間申し込みできます

電話での申し込み 047-712-6300（月～金・9時～17時。土・正午まで）